

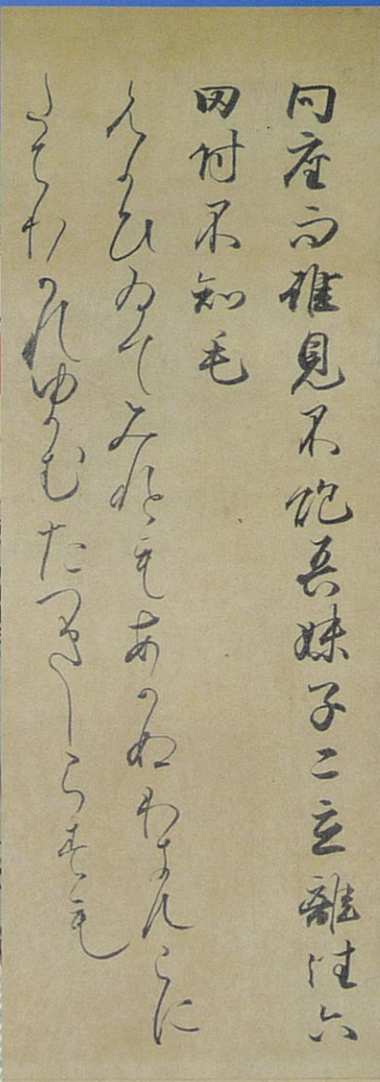
第35期特別記念展

# 万葉集と源氏物語展

松本春子・暎子、長佐古良子の世界



『源氏物語絵巻』「柏木三」



桂本『万葉集』断簡  
「梅尾切」

令和6年12月5日(木)~7年3月31日(月)  
(年末年始休み12月16日~1月6日)

## 小原道城書道美術館

札幌市中央区北2条西2丁目 札幌2・2ビル2階

入館料：300円(大学生以下無料) 休館日：月曜日

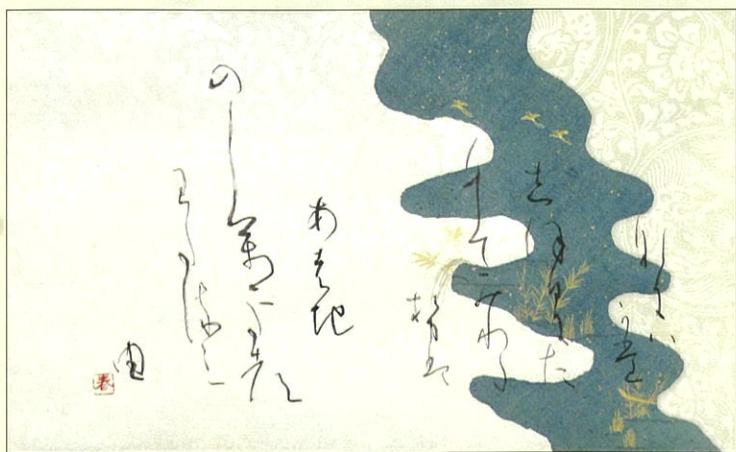


奈良・平安の王朝時代は、圧倒的な中国文化の影響を受けつつも、その刺激を受けて国風文化が花開いた時代でした。特に文芸の分野では、漢字から仮名を作り出し、日本語の表記が可能になったこと、当時の人々の生活に和歌が根付いていたことなどから、『万葉集』が編まれ、以後勅選による和歌集が次々と編まれていきました。また和歌を挿入した物語も多数作成され、光源氏を主人公とする長編『源氏物語』は、その頂点ともいえるべきものでした。

このような文芸上の諸作品は、優れた能書家の誕生と相まって、書の面においても、優美なかな書を完成させ、今日もかな書の模範となっています。そして、このような文芸上のピークは、現代の書家達にとっても、様々な魅力や靈感を与え続けています。

今回ご紹介する松本春子は、『万葉集』の若々しく力強い和歌に惹かれ、『万葉集』を始めとする多くの和歌を、あるいは古典的にあるいは近代的に、柔らかな温かなかな書で表現しました。娘松本暎子はそのかな書を更に現代的に表現しようとしてきました。また、長佐古良子は、『源氏物語』の濃密な世界に沈潜し、王朝の優美さを、かな書・料紙・表装を通じた総合的な表現と捕らえ、その再現に力を傾注しました。

王朝の古典『万葉集』など、そして『源氏物語』の歌が、これら三人の書家により、新たな表現を得てもらえられた世界を、ぜひお楽しみください。(なお、十二月十六日から二月六日まででは休館です。)



松本春子『万葉集』より「なにはかた…」



長佐古良子『源氏物語』より「かきりとて…」

## こはらどうじょう 小原道城書道美術館

〒060-0002  
札幌市中央区北2条西2丁目41  
札幌2・2ビル2階  
お問い合わせ先：011-552-2100  
入館料：300円（大学生以下無料）  
開館：午前10時～午後5時  
休館：毎週月曜日  
交通：JR札幌駅より徒歩5分、  
地下鉄さっぽろ駅・大通駅より各徒歩5分



# 小原道城書道美術館 第35期特別記念展

会期 令和6年12月5日(木)～7年3月31日(月)

休館日…毎週月曜日、年末年始(12月16日～1月6日)

ART  
GALLERY  
HOKKAIDO

アートギャラリー北海道

## 万葉集と源氏物語 展

～松本春子・暎子、長佐古良子の世界～

奈良・平安の王朝時代は、圧倒的な中国文化の影響を受けつつも、その刺激を受けて国風文化が開いた時代であった。特に文芸の分野では、漢字から仮名を作り出し、日本語の表記が可能になったこと、当時の人々の生活に和歌が根付いていたことなどから、『万葉集』が編まれ、以後勅選による和歌集が次々と編まれていった。また和歌を挿入した物語も多数作成され、光源氏を主人公とする長編『源氏物語』は、その頂点ともいえるべきものであった。

このような文芸上の諸作品は、優れた能書家の誕生と相まって、書の面においても、優美なかな書を完成させ、今日もかな書の模範となっている。そして、このような、文芸上のピークは、現代の書家達にとっても、様々な魅力や靈感を与え続けている。

今回ご紹介する松本春子は、『万葉集』の若々しく力強い和歌に惹かれ、『万葉集』を始めとする多くの和歌を、あるいは古典的あるいは近代的に、柔らかく温かなかな書で表現した。娘松本暎子はそのかな書を更に現代的に表現しようとした。また、長佐古良子は、『源氏物語』の濃密な世界に沈潜し、王朝の優美さを、かな書・料紙・表装を通じた総合的な表現と捕らえ、その再現に力を傾注した。

王朝の古典『万葉集』など、そして『源氏物語』の歌が、これら三人の書家により、新たな表現を得てもらえられた世界を、ぜひお楽しみいただきたい。

◆万葉集と源氏物語 展  
 松本春子・暎子、長佐古良子の世界◆(第一・二・三・四室)

松本春子

- 一 なにはかたしほひにたちてみわたせは…
- 二 きみまつと我が恋ひをれハ我かやとの…
- 三 うつしよの人のけたかしまよなかに…
- 四 おのつからあゆミをとめてきくものか…
- 五 暮かかる夕の空をなかもれは…
- 六 わかやとのまかきかもとのきくの花…
- 七 いはゝしるたるみのうへのさわらひの…
- 八 ①はるのくるあしたのはらを見わたせは…  
 ②夜のほとにふりつもりたるしら雪の…
- 九 ゆく秋の大和のくにの薬師寺の…
- 一〇 夕もやはあをく木たちをつゝみたり…
- 一一 ぬれつちを破りていつる黒ゆりの…
- 一二 高そらのはたてをなかれ行く雲の…
- 一三 朝すすや子規堂たゝみあたらしく…
- 一四 わかせこをやまとへやるとさよふけて…
- 一五 さしとほる朝の光二しろき花の…
- 一六 月のさす夜ふけの庭におりたては…
- 一七 小竹の葉はみ山もさや二さやけとも…
- 一八 雲はれしそのたまゆらをとほる陽の…

(シヨールウインドウ内)

松本春子

- 一九 大和にハむら山あれととりよるふ天のかく山…
- 二〇 天つちを照らす日月の極ミなく…

松本瑛子

- 一 をやまたのかとたのためになくかはす…
- 二 古織義之八多乎此暮衣縫而君待吾乎…

(作品寸法：縦×横、単位cm)

(額装 35×47)

(額装 44×71)

(額装 19×27)

(額装 24×27)

(額装 27×24)

(パネル装 35×48)

(額装 53×20)

(額装 各21×18)

(額装 27×24)

(額装 26×23)

(額装 19×19)

(額装 40×69)

(額装 98×25)

(額装 26×23)

(額装 21×18)

(額装 68×68)

(額装 125×25)

(額装 51×77)

(二曲屏風 53×147)

(二曲屏風 137×61)

(額装 137×61)

(額装 34×36)

三 山ふかミはるともしらぬまつの戸に…

一 かきりとて別るゝ道のかなしきに…

二 ①宮城野のつゆふきむすぶかせのおとに…

②あらし風ふせきしかけのかれしより…

三 心あてにそれかとそみる白露の…

四 おほかたに花のすかたをみましかは…

五 心いるかたならませはゆみはりの…

六 なけきわひ空にみたるゝわか魂を…

七 ①かけまくはかしこけれともそのかみの…

②そのかみやいかゝはありし木綿たすき…

八 おもふらん心のほとやゝよいかに…

九 なき人を恋ふる袂のひまなきに…

一〇 ①わくらはに行きあふみちをたのみしも…

②逢坂の関やいかなるせきなれば…

一一 入日さすみねにたなひく薄雲ハ…

一二 ①老いの波かひあるうらにたちいてゝ…

②しほたるゝあまを浪路のしるへにて…

③世をすてゝ明石の浦にすむ人も…

④光いてむ曉ちかくなりにけり…

一三 ①今はとて燃えなむけふりもむすほゝれ…

②立ちそひて消えやしなましうきことを…

③このしたのしづくにぬれてさかさまに…

④よをわかれ入りなむみちはおくるとも…

一四 ①うき世にはあらぬところのゆかしくて…

②つゆしけきむくらの宿にいにしへの…

一五 ①横笛のしらへはことにかはらぬを…

②笛竹にふきよる風のことならは…

一六 ①おほかたのあきをはうしとしりにしを…

②こゝろもて草のやとりをいとへとも…

◆古典複製展◆(第三室)

- 一七 ①雲の上をかけはなれたるすみかにも：  
②月影はおなし雲居にみえなから：  
一八 ①萩原やのきはの露にそほちつゝ：  
②わけゆかむ草葉のつゆをかことにて：  
一九 ①おくとみるほとそはかなきともすれば：  
②やゝもせはきえてあらそふ露のよに：  
二〇 かれはつる野へをうしとやなき人の：  
二一 夏衣たちかへてける今日はかり：  
二二 ①こゝろありてかせのにはほす園の梅に：  
二三 ②花のかにさそはれぬへき身なりせは：  
①をりてみはいとゝにほひもまさるやと：  
②よそにてはもききなりとやさたむらむ：  
二四 ①桜ゆゑかせに心のさわくかな：  
②さくとみてかつはちりぬる花なれば：  
③かせに散る事はよのつねえたなから：  
二五 ①うち捨てゝつかひさりにし水鳥の：  
②いかてかく巢たちけるそとおもふにも：  
③なくゝも羽うちきする君なくは：  
(24 × 35) (24 × 35) (24 × 35) (24 × 35) (24 × 35) (24 × 35)

◆万葉集関係書◆(第四室シヨークース内)

- 一 桂本万葉集梅尾切 二 関戸本古今集  
三 高野切第二種古今集 四・五 源氏物語絵巻 柏木三・竹河二  
六〜八 佐竹本三十六歌仙 斎宮・紀貫之・小大君

◆源氏物語関係書◆(第四室シヨークース内)

小原道城書道美術館

〒060-0002 北海道札幌市中央区北2条西2丁目41番地 札幌2・2ビル2階

お問い合わせ先=日本書道評論社 (TEL011-552-2100)

[入館料] 300円 (大学生以下無料)

[開館時間] 午前10時~午後5時

[休館日] 毎週月曜日・年末年始・お盆休み・作品の展示替えの期間

[交通] JR札幌駅より徒歩5分、地下鉄さっぽろ駅・地下鉄大通駅より徒歩5分

協賛/日本書道評論社・(株)日成堂